

研究発表会開催通知

(昭和 62 年 8 月 15 日～9 月 30 日)

研 究 会	日 時	会 場	備 考
グ ラ フ ィ ク ス と CAD	8 月 20 日 (木) 13 : 00～18 : 00 8 月 21 日 (金) 9 : 00～12 : 00	機械振興協会 伊豆研修所	下記参照
文書処理と ヒューマンインタフェース	9 月 7 日 (月) 13 : 30～17 : 00	機械振興会館	同 上
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	9 月 9 日 (水) 10 : 00～17 : 00	大阪科学 技術センター	同 上
オ ペ レ ー テ ィ グ ・ シ ス テ ム	9 月 11 日 (金) 13 : 00～18 : 00	名古屋工大	同 上
計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	9 月 16 日 (水) 13 : 30～15 : 30	機械振興会館	同 上
プ ロ グ ラ ミ ン グ 言 語	9 月 16 日 (水) 13 : 30～17 : 00	京大・数理研	同 上
マルチメディア通信と分散処理	9 月 17 日 (木) 9 : 00～17 : 00	機械振興会館	同 上
知 識 工 学 と 人 工 知 能	9 月 17 日 (木) 14 : 00～17 : 00 9 月 18 日 (金) 9 : 10～17 : 00	同 上	同 上
数 値 解 析	9 月 19 日 (土) 13 : 30～17 : 00	京大・数理研	同 上
情 報 学 基 礎	9 月 21 日 (月) 13 : 15～17 : 00	機械振興会館	同 上
デ ー タ ベ ー ス ・ シ ス テ ム	9 月 21 日 (月) 13 : 30～17 : 00	同 上	同 上
情 報 シ ス テ ム	9 月 22 日 (火) 9 : 30～17 : 30	慶 大	同 上
自 然 言 語 処 理	9 月 25 日 (金) 10 : 00～17 : 00	日 本 IBM	同 上
記 号 処 理	9 月 25 日 (金) 13 : 00～17 : 00	NTT 武蔵野通研	同 上

◆第 28 回 グラフィクスと CAD 研究会

(発表件数: 13件)

(主査: 川合 慧, 幹事: 中嶋正之, 真名垣昌夫, 守屋慎次)

日 時 昭和 62 年 8 月 20 日 (木) 午後 1 時～6 時
8 月 21 日 (金) 午前 9 時～12 時

会 場 機械振興協会 伊豆研修所

〔伊東市大室高原 5-227, JR (東日本): 伊東下車, バス池, シャボテン公園行
(一碧湖経由) 初島台下車 (所要時間約 25 分), タクシー: 一碧湖経由で約 18 分.
Tel. 0557 (51) 2300〕

議 題 第 1 回 グラフィクスと CAD 集中研究会

・ユーザインタフェース 3 次元情報入力

(1) 平面カーソルを用いた対話的な形状モデリング

関根弘隆, 寺嶋廣克 (日電)

(2) 3 面図入力を基本とした対話的な 3 次元形状入力システム

原田毅士 (東大・工)

(3) 3次元情報入力におけるユーザインタフェースについて

辻堂仁規, 江村恵里子 (三菱電機)

・ユーザインタフェース管理システム

(4) ユーザインタフェースの階層時相 守屋慎次, 中谷吉久 (電機大)

(5) ユーザインタフェース管理システムの構築と問題点

川越恭二, 対比地幹雄 (日電)

(6) ユーザインタフェースにおける対話記述の実現

今宮淳美, 関村 勉 (山梨大・工)

(7) 知的マンマシンインタフェースの実現に向けて

浜川 礼, 川越恭二 (日電)

・グラフィクス利用環境

(8) ファクトリオートメーションとグラフィクス・インタフェース

内田光太郎 (リコー)

(9) 対話型 CG モデラ FUSION/MODELER

村上公一 (富士通)

(10) 階層化マルチウィンドウを使った CG 統合環境FUSION/MMI

林 一司 (富士通)

・画像利用のユーザインタフェース

(11) コンピュータアニメーションを利用したユーザインタフェース

中嶋正之, 安居院猛, 野口典正 (東工大・工)

(12) コンピュータビジョンとアニメーションによるユーザインタフェース

末永康仁 (NTT 通研)

(13) 画像作成の高水準化とユーザインタフェース

鎌田富久, 川合 慧 (東大・理)

(若干追加の予定. 当日の討議内容も含めたうえで研究会資料を作成します.)

参加予定: 約 20 名 (参加申込みはメ切られております.)

◆第 14 回 文書処理とヒューマンインタフェース研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 木村 泉, 幹事: 角田博保, 黒須正明, 首藤正道)

日 時 昭和 62 年 9 月 7 日 (月) 午後 1 時半～5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, JR: 浜松町下車. バス: 渋谷ー東京タワー線東京タワー, 渋谷ー東京駅八重洲線虎ノ門 5 丁目下車. Tel. 03 (434) 8211〕

議 題 (1) PostScript における漢字出力の一方

河村豊実, 古川善吾, 牛島和夫 (九大・工)

〔概要〕 PostScript における漢字フォント情報の登録と辞書切り替えとを用いた漢字出力の量・速さについて評価する.

(2) 時間情報を利用した制御を可能にする MS-DOS の機能拡張について

森川 治 (製科研)

〔概要〕 人間の反応時間を考慮したシステム応答特性を実現するために必要な機能拡張を MS-DOS 上で行った.

(3) プロトコル解析手法による日本語 WP 評価

旭 敏之, 宮井 均, 神場知成 (日電 C&C 研)

〔概要〕 プロトコル解析手法を用い, 日本語 WP の使い易さ評価を行った. 本手法の評価手法としての適性を論じる.

(4) ワープロ利用者の思考時間に関する統計的模型の精密化

木村 泉, 粕川正充 (東工大・理)

〔概要〕 既報の模型において (1) 他からの傍証により解釈を一部変更, (2) 思考時間計測方法を精密化. 一応の決定版?.

◆第 56 回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 花田收悦, 幹事: 落水浩一郎, 紫合 治, 春原 猛)

日 時 昭和 62 年 9 月 9 日 (水) 午前 10 時~午後 5 時

会 場 大阪科学技術センター 403 号室

〔大阪市西区靱本町 1-8-4, JR (新幹線): 新大阪下車, 地下鉄: 御堂筋線 (天王寺方面) 本町下車 (2 番出口), 徒歩 8 分. Tel. 06 (443) 5321〕

議 題 講 演 知識処理とソフトウェア

豊田順一, 上原邦昭 (阪大・産研)

〔概要〕 ソフトウェア諸技術への知識処理の適用について, 事例に基づいて概説する.

(1) ソフトウェアの要求仕様作成から設計仕様作成までの標準化

立田種宏 (ソニー・テクトロニクス)

〔概要〕 ソフトウェアの要求仕様を変換分析により設計仕様に変換し, Yin 他の評価基準により定量的に評価することで, 要求仕様作成から設計仕様作成までの一連の作業の標準化を行う.

(2) JSL (ジャクソンシステム開発法言語) インタプリタの開発

山住 巖, 加藤潤三 (日本ユニバック)

〔概要〕 JSD 仕様を直接実行したり, 伝統的な言語に変換するために言語 JSL を導入した. JSL のインタプリタを PC 上で C 言語を使い試作したので, その概要を述べる.

(3) ユーザインタフェースの設計モデル

中村能章 (NTT 通研)

〔概要〕 ユーザインタフェースの設計を容易にする, UIMS にサービス制御機能を組込んだ設計モデルを提案する.

(4) 画面ドライバと設計支援システムへの適用

大竹 勤 (NTT 通研)

〔概要〕 サービス制御機能を組込んだ UIMS の実現方式と本方式による設計支援システムの試作概要について述べる.

(5) プログラムの制御流れの複雑度と構造度の精度改善について

梁 海述, 荒木俊郎 (阪大・基礎工)

〔概要〕 プログラムの複雑度尺度の問題点と特性を指摘し, 短点を補完改善した 2 元複合尺度と構造度 S の提案と評価をする.

(6) V60 リアルタイム OS におけるマルチタスクデバッグの実現

中本幸一，沓掛由美子，橋本一也，阿部 隆（日電）
〔概要〕 V 60 リアルタイム OS で，ランデブ記述レベルで並行タスクのデバッグが可能なデバッグの仕様と実現を述べる．

◆第 36 回 オペレーティング・システム研究会 (発表件数：4 件)
(主査：亀田壽夫，幹事：紀 一誠，野口健一郎)

- 日 時 昭和 62 年 9 月 11 日（金）午後 1 時～6 時
会 場 名古屋工業大学 電気情報工学科
〔名古屋市昭和区御器所町，JR：名古屋下車，（1）地下鉄：東山線に乗り伏見で鶴舞線に乗りかえ鶴舞下車，または（2）JR 中央線鶴舞下車，（いずれも乗車時間約 10 分），徒歩 10 分（鶴舞公園東どなり）．Tel. 052 (732) 2111〕
- 議 題 (1) 追記型光ディスクを用いた世代管理ファイルシステムの開発
横関 隆，中川正樹，高橋延匡（農工大・数理情報）
〔概要〕 追記型光ディスクの欠点を逆手にとり，ワークステーション上での世代管理ファイルシステムの実現を考える．
- (2) 並列オペレーティングシステム SSS-d におけるプロセス管理に関する基礎考察 曾和将容（名工大），奥平誠司，林 宏也（群大）
〔概要〕 データフローコンピュータ用 OS のプロセス管理についての基礎考察を行う．
- (3) 光ループを用いた複合構成システムの運転方式について
倉田正博（NTT 通研）
〔概要〕 高速の光ループによって結合された計算機複合体の運転方式や故障時のシステム停止の回避策について述べる．
- (4) マイクロ・メインフレーム結合における仮想サービス
相原 達（日本 IBM）
〔概要〕 ホストと PC を結合する際に解決すべき OS の違いを日本語 PC/VM BOND や ECF を例にとって述べる．

◆第 59 回 計算機アーキテクチャ研究会 (発表件数：3 件)
(主査：田中英彦，幹事：喜連川優，長谷川隆三)

- 日 時 昭和 62 年 9 月 16 日（水）午後 1 時半～3 時半
会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室（所在地は前記参照）
- 議 題 (1) 有限要素モデルのアレイ型マルチプロセッサへのマッピング手法
岡部公治（松下電器）
〔概要〕 有限要素モデルをアレイ型マルチプロセッサ上で効率よく処理するためのマッピング手法を提案し評価を行う．
- (2) A construction of Benesinterconnection network controlling algorithm without the symmetrical property
Issam A. Hamid，白鳥則郎，野口正一（東北大・通研）
〔概要〕 二つのブロッキング相互結合網（IN：Interconnection Network）から，『対称性』を用いないでベンズ IN の制御法を構成する方法について検討する．

(3) 光ディスク装置誤り訂正用 LSI

加藤 修, 黒沢勝広 (松下通信), 岩国 薫, 新保正利 (松下電器)

〔概要〕 光ディスク装置用 LDC フォーマットに対する, 4 重誤り以下の訂正アルゴリズムと実時間訂正を行う LSI.

◆第 13 回 プログラミング言語研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 斉藤信男, 幹事: 石畑 清, 寛 捷彦, 安村通晃)

日 時 昭和 62 年 9 月 16 日 (水) 午後 1 時半～5 時

会 場 京都大学 数理解析研究所

〔京都市左京区北白川追分町, JR: 京都 (烏丸口) 下車, 市バス: 特 17 号北白川下車, 206 号百万遍下車, 地下鉄: 今出川下車, 市バス: 203 号乗継北白川下車. Tel. 075 (751) 2111〕

議 題 (1) G は GMW の G 萩谷昌己 (京大・数理研)

〔概要〕 GMW ウィンドウ・システムの拡張用言語として設計されたプログラミング言語 G について述べる.

(2) 入力インタフェース用の日本語サブセットの簡易的構成法

徳田雄洋, 萩原正也 (山梨大・工)

〔概要〕 構文解析と構文主導型翻訳の容易な日本語のサブセットのクラスを提案する.

(3) 属性文法のソースレベルの変換について

渡辺喜道, 徳田雄洋 (山梨大・工)

〔概要〕 属性文法のソースレベルの変換法についていくつか提案する.

(4) 視覚言語の研究動向 市川忠男 (広大・工)

〔概要〕 プログラミング環境における視覚情報の有効利用について, 国内外の最近の研究動向を概説する.

◆第 35 回 マルチメディア通信と分散処理研究会

(発表件数: 13 件)

(主査: 松下 温, 幹事: 浦野義頼, 山崎晴明, 若山博文)

日 時 昭和 62 年 9 月 17 日 (木) 午前 9 時～午後 5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 9: 00～12: 00 (6 件)

(1) 通信ソフトウェアの体系的開発法の適用

水野忠則, 佐藤文明, 中川路哲男, 勝山光太郎 (三菱電機)

〔概要〕 通信ソフトウェアの体系的開発支援法を開発し, 通信ソフトウェアの設計・デバッグに適用した.

(2) OSI FTAM の実現

中川路哲男, 勝山光太郎, 水野忠則 (三菱電機)

〔概要〕 OSI に準拠した FTAM, ACSE, プレゼンテーションをワークステーション上に開発した.

ネットワーク管理技術特集

(3) ネットワーク管理技術の現状と展望

若山博文, 河岡 司 (NTT 通研)

〔概要〕 ネットワーク管理の概念を整理し、ネットワークの管理の主要技術の現状と課題を考察し、今後の発展方向を展望する。

(4) ネットワーク管理の標準化 小林善和 (日本 IBM)

〔概要〕 ISO 及び CCITT におけるネットワーク管理の標準化の現状と問題、及び今後の課題について発表する。

(5) 日立ネットワーク管理システム (NETM) の考え方

植田正博 (日立)

〔概要〕 ネットワーク管理アーキテクチャと、これに基づくネットワーク管理システムの考え方について述べる。

(6) 統合ネットワーク管理システム (COMS) について

荒井勇二, 杉浦和彦 (富士通神戸エンジニアリング)

石橋宏司, 大空 瞭 (富士通)

〔概要〕 富士通統合ネットワーク管理システム—COMS—について、その概要と狙い及び将来の展開について述べる。

13: 20~17: 00 (7 件)

(7) VISION ネットワーク管理システム

林 博之, 宗田安史, 坂野 弘, 下郷昌夫, 山本森幸, 工藤義浩 (日電)

〔概要〕 コンピュータとコミュニケーションが融合した、いわゆる C&C システムが発展している。コンピュータ系とコミュニケーション系の統合ネットワーク管理システムの構築について論じる。

(8) 東芝グループ VAN の運用について 小柳順一 (東芝)

〔概要〕 ネットワークの運用に対する基本的な考え方とその現状、及び問題点について述べる。

(9) 統合情報通信ネットワークシステムにおけるネットワーク運用管理

三宅敏章 (沖電気)

〔概要〕 回線交換、パケット交換、多重化、メール、網管理などの各装置を基本コンポーネントとして構築する統合情報通信ネットワークシステムにおけるネットワーク運用管理システムについて述べる。

(10) 仮想ネットワーク——ネットワークにおける資源管理方式——

貫井春美 (東芝)

〔概要〕 分散環境において、ネットワーク結合された個々の設備全体を仮想的な一台の設備として利用できるソフトウェア開発環境について考える。リモート資源をローカル資源と同様に利用できるネットワークワイドな資源管理方式に関して報告する。

(11) 高速デジタル網集中管理システムにおける構成管理、障害管理方式の開発 鈴木三知男, 中村 勤, 佐々木良一 (日立)

〔概要〕 高速多重集配信装置からなる網の、管理情報網の構築、網の構成管理方式及び障害の検知診断方式について述べる。

(12) パケット交換ネットワークの運用管理

大島淳一, 谷口 順, 豊田教彦 (三菱電機)

〔概要〕 開発中のパケット交換網の運用管理方法を例として、ネットワーク管理

の各種技術課題を検討する。

(13) 交換機知的オペレーション方式に関する一考察

湊 裕二, 藤本喜作 (NTT 通研)

〔概要〕 交換機及びオペレーションシステムから得られる情報をもとにした交換機知的オペレーション方式について述べる。

◆第 54 回 知識工学と人工知能研究会

(発表件数: 10 件)

(主査: 堂下修司, 幹事: 西田豊明, 米澤明憲)

日 時 昭和 62 年 9 月 17 日 (木) 午後 2 時～5 時

9 月 18 日 (金) 午前 9 時 10 分～午後 5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 研修 1 号室 (所在地は前記参照)

議 題 9 月 17 日 (木) 14: 00～17: 00 (3 件)

(1) 環境モデルにおける物体の見え方と見方

伊庭斉志 (東大・工), 松原 仁 (電総研), 井上博允 (東大・工)

〔概要〕 知能ロボットの環境理解の実現のために, 物体の見え方と見方という考えを用いた環境モデルの管理について述べる。

(2) 集合論に基づく知識表現

菅野博靖 (富士通)

〔概要〕 高次の知識を自然に表わすことが可能な集合論に基づく知識表現を提案し, その豊かな表現能力について論じる。

(3) アジェンダ・コントロールに基づく並行実行 Prolog

畠見達夫 (東工大)

〔概要〕 柔軟な探索戦略を可能とする拡張された Prolog 処理系を作成した。その実現方式及び応用例について報告する。

9 月 18 日 (金) 9: 10～11: 55 (3 件)

(4) Prolog における再帰式の正当性に関するある十分条件

櫻井彰人, 元田 浩 (日立)

〔概要〕 Prolog により定義された述語の再帰式及び述語の含意式の正当性に関する十分条件とその応用について述べる。

(5) OPS 5 のプログラミングパラダイムを使った生産計画シミュレーション

山岡喜代司 (日立造船情報システム)

〔概要〕 知識工学手法を応用した計画型の範疇に入る生産計画のアプリケーションと, 各種アプリケーション構築手法の一例を提示する。

(6) 学生の誤りの発生過程のモデル化と教育への利用

平島 宗, 中村祐一, 上原邦昭, 豊田順一 (阪大・産研)

〔概要〕 式の計算を対象として, 学生の誤りが発生する過程をモデル化し, このモデルを用いた教育について述べる。

13: 00～17: 00 (4 件)

(7) 解法例からの問題解決知識の獲得—1 次方程式・不等式の場合—

山田誠二, 安部憲広, 辻 三郎 (阪大・基礎工)

〔概要〕 与えられた解決例を条件連鎖により一般化し, 問題解決の知識を学習するシステム PiL について報告する。

(8) 意味記憶システム IX (イックス) のプロトタイプについて

樋口哲也, 古谷立美, 半田剣一, 楠本博之, 国分明男 (電総研)

〔概要〕 大規模意味ネットを並列処理する, トランスペュータ 32 台からなる意味ネットワークマシン試作版の概要を述べる.

(9) 極小変化による信念の修正について

佐藤 健 (ICOT)

〔概要〕 信念に対して矛盾した情報が加えられたときに, 信念の変化を極小にするように修正するモデルについて述べる.

(10) 制約プログラミングのためのネットワークモデルとその上での変更伝搬

沼尾雅之 (日本 IBM)

〔概要〕 変数を表現するためのセルとセル間の制約を規定するための関係から構成されるネットワークモデルを提案し, その上での変更伝搬機構を説明する.

◆第 22 回 数値解析研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 森 正武, 幹事: 唐木幸比古, 野寺 隆, 福井義成)

日 時 昭和 62 年 9 月 19 日 (土) 午後 1 時半 ~ 5 時

会 場 京都大学 数理解析研究所 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 代数方程式に対する根の重複度検出について 都田艶子 (阪大・工)

〔概要〕 代数方程式の解法の問題点は近接根や重複度の高い根の分離である. 根の分離と重複度の検出について報告する.

(2) デジタルマップ作成における数値計算上の諸問題

検山澄子 (東大・地震研)

〔概要〕 震研地図システム作成で経験した海岸線など生の数値データ処理における数値計算上の問題と解決策について述べる.

(3) 複素平面上の数値積分

平山 弘 (幾徳工大)

〔概要〕 コーシの積分表示によって, 多くの積分が周回積分に変形できる. これから高精度の数値積分法が得られる.

(4) ラプラス方程式に対する境界要素解の一様収束性

磯 祐介 (京大・数理研)

〔概要〕 境界要素法により構成したラプラス方程式のノイマン問題の数値解が厳密解に一様収束することを示す.

◆第 6 回 情報学基礎研究会

(発表件数: 4 件)

(主査: 藤原 譲, 幹事: 有川節夫, 富永英義, 中村史朗)

日 時 昭和 62 年 9 月 21 日 (月) 午後 1 時 15 分 ~ 5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階 2 号室 (所在地は前記参照)

議 題 (1) 画像処理エキスパートシステムにおける知識獲得手法

田中利一, 星 光, 末田直道 (東芝)

〔概要〕 画像処理エキスパートシステムにおいて, 適切なサブルーチンの組合せをガイドする専門的知識を獲得するための手法について述べる.

(2) ソフトウェアモデリングにおける役割付与の構造について

小林 要 (富士通 国際研)

〔概要〕 ソフトウェアを、対象モデル、実現モデル、およびそれらの間の関係として構造化し、モデル化する試み。

(3) 生物学における同定支援システムの試作

鵜川義弘, 館野義男, 菅原秀明 (理研)

〔概要〕 分類と同定は、生物学の基本となる知的活動である。今回、細菌の確率的同定、日本産樹木同定システムおよび放線菌画像データベースを試作したので紹介する。

(4) テキストデータベース管理システム SIGMA について

有川節夫 (九大・理), 武谷峻一 (九大・工)

篠原 武 (九工大・情工), 大島一彦 (福大・理)

〔概要〕 高速パターン照合アルゴリズムに基づく標記システムを、日本語テキストにも適用できるように全面改訂した。

◆第 61 回 データベース・システム研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 上林弥彦, 幹事: 石井義興, 大里博志, 鈴木健司)

日 時 昭和 62 年 9 月 21 日 (月) 午後 1 時半～5 時
会 場 機械振興会館 地下 3 階 1 号室 (所在地は前記参照)
議 題 (1) 距離空間に基づいたデータモデルの提案について

田淵仁浩, 村岡洋一 (早大)

〔概要〕 曖昧な情報の視覚的な検索を支援するためにデータを距離の概念に基づいて整理するデータモデルを提案する。

(2) 分散知識ベース管理システム PHI

宮崎収兄, 山下祥司, 羽生田博美 (沖電気)

森田幸伯, 伊藤英則 (ICOT)

〔概要〕 PHI の各サイトは PSI と知識ベースエンジンから構成される。PHI の問合せ処理とエンジンの処理方式を述べる。

(3) 非正規形関係論理／関係代数変換法 中野良平 (NTT 通研)

〔概要〕 非正規形関係論理を非正規形関係代数に変換する問題を正規形の変換法の拡張の視点からとらえ、問題点と対処策を述べる。

(4) AIM/RDB のデータベース運用形態 安念仁志 (富士通)

〔概要〕 AIM/RDB のデータベースには、私用モードと共用モードがあり各モードの特長と管理方式を説明する。

(5) 可制御二相施錠方式 上林弥彦 (九大・工)

〔概要〕 並行処理制御方式として普及している二相施錠規約を可制御にするための方法について述べる。

◆第 16 回 情報システム研究会

(発表件数: 11 件)

(主査: 浦 昭二, 幹事: 岩丸良明, 橋本茂司, 松谷泰行)

日 時 昭和 62 年 9 月 22 日 (火) 午前 9 時半～午後 5 時半
会 場 慶應大学 日吉図書館 AV ホール (地下 1 階)
〔横浜市港北区日吉 3-14-1, 東横線: 日吉下車 (東口) 徒歩 3 分。
Tel. 044 (63) 1141〕

議 題 特集：国際関連

9: 30~12: 20 (5件)

- (1) 情報システムに関する技術協力の展望 大橋有弘 (総務庁)
〔概要〕 開発途上国における情報システムの利用状況と問題点を踏まえ、日本の技術協力の現状と今後のあり方を展望する。
- (2) パキスタンの実情 佐藤寿彦 (東工科大)
〔概要〕 パキスタンでの3年にわたる電気通信関係の技術協力の体験及び生活事情を紹介する。
- (3) 中国における情報システム発展の基礎 岡野寿夫 (新日鐵)
〔概要〕 中国、日本、欧米の各国民性、習慣などを対比し、東洋の共通性に着目しつつ、中国のシステムの現状を考察する。
- (4) シンガポールの情報処理教育に協力して 西村眞一郎 (聖徳短大)
〔概要〕 筆者がシンガポールに派遣されていた間に観察体験した教育システムの差、システムの評価法の差について述べる。
- (5) 日中ソフトウェア協力について 南郷みどり (日電)
〔概要〕 中国の情報処理の環境と日本のソフトウェア技術協力の現況を紹介する。

13: 30~17: 30 (6件)

- (6) 開発途上国における通信網の現状と技術協力上の諸問題 高橋謙三 (NTT 通研)
〔概要〕 国際技術協力の経験から、開発途上国での通信事情、研究状況などを述べ、技術協力上特筆すべき事項を述べる。
- (7) 途上国の情報システムとその問題点 加藤次雄 (KDD)
〔概要〕 途上国で共通する情報化への取組み上の問題点、あるいは文化圏の違いによる問題点を解説する。
- (8) 情報処理国際連合 (IFIP) における情報システム関連の研究活動について 魚住 董 (富士通)
〔概要〕 IFIP の中で、情報システムの企業体や社会に対する関連を研究している TC 8、TC 9 の活動について報告する。
- (9) 国際規格に漢字処理を付加する苦勞 若鳥陸夫 (日本ユニバック)
〔概要〕 「事務文書体系 (ODA)」の国際規格に漢字処理を組み入れる際、確定できない漢字全集合、あいまいな漢字識別などの苦慮している点を報告する。
- (10) 原子力発電情報における国際協力の現状 西島良昌 (電力中研)
〔概要〕 欧米およびアジアと我が国の電気事業者による原子力発電情報交換システムの現状と運用実績について述べる。
- (11) アメリカ人の見た日本のソフトウェア業界 ビル・トッテン (アシスト)
〔概要〕 日本に馴染みのなかった汎用ソフトウェアを、どうやって一米国人が日本に持ち込み市場を開拓していったか。

◆第 63 回 自然言語処理研究会

(発表件数: 9 件)

(主査: 吉田 将, 幹事: 田中穂積, 野村浩郷, 日高 達)

日 時 昭和 62 年 9 月 25 日 (金) 午前 10 時～午後 5 時

会 場 日本アイ・ビー・エム 東京基礎研究所

〔東京都千代田区三番町 5-19 第 36 興和ビル, 地下鉄: 半蔵門線半蔵門下車徒歩 5 分, 新宿線九段下車徒歩 10 分, JR (中央線・総武線): 市ヶ谷下車徒歩 10 分. Tel. 03 (265) 4254〕

議 題 10: 00～12: 40 (4 件)

(1) 一般化文脈自由文法, 多重文脈自由文法及び head grammar について

嵩 忠雄, 関 浩之, 藤井 護 (阪大・基礎工)

〔概要〕 標題の文法の相互関係, 生成能力, 生成される言語の性質, 認識問題の時間的複雑さについて述べる.

(2) アスペクト情報の素性図式化と日本語解析への応用

古瀬 蔵, 中國 薫, 野村浩郷 (NTT 通研)

〔概要〕 アスペクト表現の時間的性質を素性の演算などにより図式化し, それを日本語のアスペクト解析に応用する.

(3) 拡張 CFG を用いた日本語構文解析

隅田英一郎 (日本 IBM), 丸山直子 (東京女子大)

〔概要〕 拡張 CFG を用いた日本語解析における構文木の曖昧さの処理と法情報の処理について報告する.

(4) 結合価フレームを利用した文解析システム

三浦 貢, 板橋秀一, 西野博二 (筑波大・電子・情報)

〔概要〕 文を入力することにより結合価フレームで表わした意味辞書を強化し, これを利用して文解析を行うシステム.

13: 30～17: 00 (5 件)

(5) 事象の事実性を用いた日本語の複文解析

平井 誠, 北橋忠宏 (阪大・産研)

〔概要〕 複文を構成する各単文が事実か命題かという観点から複文構造を解析する方法を示す.

(6) 説明文を要約するシステム

喜多壮太郎 (東大・工)

〔概要〕 「意味表現」や「世界モデル」よりも, 文章中に陽に表れる, 文脈に依存した言語現象に注目したシステムの紹介.

(7) プログラム仕様に用いる自然語の形式的意味定義について

並河英二, 松村 享, 関 浩之, 藤井 護, 嵩 忠雄 (阪大・基礎工)

〔概要〕 プログラム仕様に用いる自然語の形式的意味を定義するために必要な機能を持った形式言語について述べる.

(8) 翻訳システム TITLE-1 の概要

新井幸宏, 安居院猛, 中嶋正之 (東工大・像情報)

〔概要〕 UNIX/C 言語を用いて作成した英日翻訳システムの概要と中学校教科書の翻訳実験を行った結果について述べる.

(9) 機械翻訳システム CONTRAST における英語テキスト生成

内田ユリ子, 石崎 俊, 井佐原均, 橋田浩一 (電総研)
〔概要〕 機械翻訳システム CONTRAST における英語テキストの生成の考え方
と経験について報告する。

◆第44回 記号処理研究会

(発表件数: 4件)

(主査: 和田英一, 幹事: 井田昌之, 小川貴英, 元吉文男)

日 時 昭和62年9月25日(金) 午後1時~5時
会 場 NTT 武蔵野研究センター 6号館202号室
〔武蔵野市緑町 3-9-11, JR(中央線): 三鷹(北口)下車, 関東バス(1番乗場):
北裏行(便多数) 武蔵野市役所前下車徒歩5分. Tel. 0422 (59) 3083〕

議 題 (1) 逐次型推論マシン: CHI

幅田伸一, 中崎良成, 新 淳, 小長谷明彦, 梅村 護 (日電)
〔概要〕 通産省第5世代計算機プロジェクトの一環として開発した逐次型推論
マシン CHI のアーキテクチャについて報告する。

(2) 並列 LISP 処理系 PLC 中川博満 (松下電器)

〔概要〕 並列 LISP 処理系 PLC を開発した。PLC では関数 Cœval の全引数 S
式が同時に評価される。

(3) kono CL—kono Common Lisp—

中村輝雄, 山本昌彦, 藤岡秀樹, 川上 敦, 納富雅人
吉田晶子 (日立ソフトウェアエンジニアリング)
〔概要〕 アプリケーションを必要最小限の環境で実行するために開発した kono
CL について述べる。

(4) “日本語上手”な Common Lisp—Lisp マシンでの実現—

大田一久, 山村陽一, 森澤好臣 (日本ユニバック)
〔概要〕 Common Lisp で日本語を使うことを目的として, 日本語 Common Lisp
環境 (NCL) を Lisp マシン Explover 上に実現した。

◇ マイクロコンピュータ研究会

第46回 研究会は10月1日(木) 於機械振興会館で, 第47回は12月に九州での開催を予定しており
ます。

◇ ソフトウェア基礎論研究会

第22回 研究会は下記のとおり開催いたします。詳細は次号(9月号)を参照願います。

日 時 昭和62年10月1日(木) 午前10時~午後3時

会 場 北大・工 A-332 教室

議 題 10:00~12:00 (3件)

- (1) 並列オブジェクト系の変換とその応用 柴山悦哉 (東工大・理)
- (2) 自己適用可能な部分計算の実現と応用 藤田 博, 古川康一 (ICOT)
- (3) GHC による簡単なプログラミングシステムの記述
田中二郎 (ICOT), 太田祐紀子 (富士通)

13:00~15:00 (3件)

- (4) カットオペレータを排除し, 明示的に制御を行う論理型言語: ALEX
星田昌紀, 所真理雄 (慶大・理工)

(5) Continuation を用いたプログラム変換の拡張

長田博泰 (北大・情報処理教育センター)

(6) 様相論現系における自動演繹システムについて

前田 隆 (北大・工)

次回以降の研究会は、以下の特集を予定しておりますので、ふるってご投稿ください。

- 12月10日(木)・11日(金)「並行・分散」特集：並行・分散計算の理論，言語，アルゴリズム，処理系など広い範囲を含みます。

(情報処理学会(プログラミング言語研究会)，電子情報通信学会(ソフトウェアサイエンス研究会・コンピュテーション研究会)と共催)

- 2月12日(金)「ソフトウェアの基礎理論とその応用」特集(電子情報通信学会(ソフトウェアサイエンス研究会)と共催)。

◇ 数値解析研究会

第23回 研究会は12月4日(金)於機械振興会館で特集「グリッドジェネレーション」を開催いたします。発表希望の方は9月10日(木)までに事務局研究会係までお申込みください。

◇ 計算機アーキテクチャ研究会

データフローワークショップを次により電子情報通信学会・データフローアーキテクチャと並列処理時限研究専門委員会および日本ソフトウェア科学会と共催します。

日 時 昭和62年10月21日(水) 13:00~23日(金) 16:00

会 場 (財)関西地区大学セミナーハウス

(神戸市北区道場町生野字ロクゴ Tel. 07956(4)4391)

プログラムの概要

◇基調講演 寺田浩詔(阪大)

◇特別講演 「記号処理の並列性は10, 10², 10⁵!？」

コーディネイタ 雨宮真人(NTT)

- 自然言語処理における並列性について

松本裕二(ICOT)

- プロダクションシステムの並列実行

石田 亨(NTT)

- データベース処理における並列性

喜連川優(東大)

◇パネル討論「並列処理の本命は、データフローアーキテクチャだ!？」

コーディネイタ 弓場敏嗣(電総研)

パネリスト

島田俊夫(電総研)，長島重夫(日立)，長谷川隆三(ICOT)，後藤厚宏(ICOT)

梅村恭司(NTT)

◇一般講演(11セッション，36件)

参加費 一般25,000円，学生20,000円(論文集代，10月21，22日の宿泊費，レセプション参加費を含む)。

定 員 200名(先着順)

参加申込 下記あて9月20日までに氏名，連絡先(電話)，一般，学生の別を明記してお申込みください。ただし，参加費は当日会場にてお支払いください。

〒565 大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学工学部電子工学科

寺田研究室 西川博昭(Tel. 06(877)5111 Ext. 5018)

その他 詳しいプログラムならびに会場/宿泊施設の案内をご希望の方は，返信用封筒を同封のうえ，上記連絡先までご請求ください。

◆研究発表会開催予定（10月～63年3月）

（研究会名）

（開催日・会場）

自然言語処理	11月20日(金) 福岡大	3月23日(水) 京大
データベース・システム	11月16日(月) 電総研 3月15日(火) 東京	1月18日(月) 京大
知識工学と人工知能	11月18日(水) 東大・駒場 1月13日(水)・14日(木) 阪大 3月9日(水)・10日(木) 機・B3-研1	
記号処理	11月13日(金) 東大 3月 東京	1月22日(金) 電総研
ソフトウェア工学	11月25日(水) 機・6-65 2月4日(木)・5日(金) 未定	
マイクロコンピュータ	10月1日(木) 機・6-64 2月23日(火) 機・B3-2	12月1日(火) 九州
計算機アーキテクチャ	11月上旬 東北大 3月10日(木) 機・B3-2	1月21日(木) 機・B3-2
オペレーティング・システム	12月4日(金) 機・6-65	2月26日(金) 機・6-65
コンピュータビジョン	10月1日(木) 北大 1月22日(金) 阪大	11月26日(木) KDD研 3月17日(木) 東大・生研
設計自動化	10月15日(木) 機・B3-1 2月18日(木) 機・6-65	12月 広島
マルチメディア通信と分散処理	2月19日(金) 機・6-67	
文書処理とヒューマンインタフェース	11月5日(木) 機・B3-2 3月3日(木) 未定	1月18日(月) 機・B3-2
グラフィクスとCAD	10月1日(木) 北大 2月26日(金) IBM	11月6日(金) 機・B3-1
数値解析	12月4日(金) 機・B3-2	3月11日(金) 機・B3-1
ソフトウェア基礎論	10月1日(木) 北大 2月12日(金) 機・B3-2	12月11日(金) 機・B3-研1
情報システム	11月17日(火) 慶大	2月16日(火) 機・B3-2
プログラミング言語	12月18日(金) 機・B3-研2	2月19日(金) 東大
情報学基礎	11月9日(月) 機・B3-2	2月22日(月) 機・B3-2
注) 機-機械振興会館 ＊ 各研究会に発表申込希望者は開催月の3ヵ月前に研究会発表申込書（本欄末添付）を事務局研究会係までご送付ください。		

情報処理学会第 35 回 全国大会（昭和 62 年後期）参加について

- 開催期日 昭和 62 年 9 月 28 日（月）～30 日（水）
会場 北海道大学・工学部・教養部（札幌市北区北 13 条西 8 丁目）
プログラム 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場などはプログラム末尾の会場案内図を参照してください。

一般参加の方へ

1. 総 受 付 北海道大学工学部正面玄関ホール
 2. 参 加 費 会 員 1,000 円（賛助会員は 1 口 1 名として正会員に準じます。）
非会員 2,000 円（ただし電気、電子情報通信、照明、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。会員番号を申し出てください。）
 3. 論 文 集 定 価 6,000 円（予約価 5,000 円 8 月 24 日締切）
（当日、予約者以外にお頒けできるのは、残部のある場合に限りです。）
- ◎ 参加される方は、総受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、前の講演者の講演時間中に、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含めて、15 分を原則とします（都合により 13 分のセッションもあります）。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の 5 分前および 3 分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。

研究賞・学術奨励賞の表彰 大会初日（28 日）午前に昭和 62 年度研究賞および第 34 回全国大会学術奨励賞受賞者の表彰を A 会場で行います。

（その他の一般注意）

1. 食堂：学生食堂、休憩室などはプログラムの会場案内図参照のこと。
2. 電話の呼び出しはいたしません（万一止むを得ない場合のみ、伝言板に掲示：Tel. 011(717)9475.
3. 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。

学術奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後 10 年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約 10 名を選び、学術奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る 9 月 28 日～30 日に北海道大学工学部・教養部で開催される第 35 回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者 1 名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第 35 回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意しておりますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は学術奨励賞委員会（委員長 石井副会長）で行い、その発表と表彰は来年 3 月に開催の第 36 回全国大会（慶應義塾大学）時に行われる予定です。

記

選定範囲および推薦数

第 35 回 全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者 1 名。

推薦資格 本学会正会員に限る。

推薦方法 官製はがきに、推薦する論文の①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校（学部）卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会学術奨励賞係あてお送りください。

推薦締切 昭和 62 年 10 月 10 日（当日消印有効）

表彰規程（第 5 章 学術奨励賞）

第 19 条 学術奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第 20 条 学術奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第 1 回の委員会開催時とする）。
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後 10 年未満の者またはこれと同等と認めらる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第 21 条 第 20 条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第 22 条 学術奨励賞は、毎回約 10 名ずつを選定し、贈呈する。

第 23 条 学術奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

- 2. 賞金は、1 名につき、20,000 円とする。

第 36 回 全国大会（昭和 63 年前期）の開催について

昭和 63 年春の第 36 回全国大会は下記により開催されます。一般講演申込みの締切りは 10 月下旬の予定ですので、9 月号本欄にご留意ください。

記

日 時 昭和 63 年 3 月 16 日(水), 17 日(木), 18 日(金)
会 場 慶應義塾大学日吉校舎（横浜市港北区日吉 4-1-1）

会員名簿（昭和 62 年版）の発行、予約について

先月お知らせしたとおり、会員名簿発行のため会員原簿の内容確認を 7 月末日締切りで、郵送により個々にお願ひしました。訂正・変更のある方は「名簿確認用紙」を早急にご返送ください。ご返送のない場合は、訂正・変更のないものとしますので、ご了承ください。

また、会員名簿は予約申込みを原則とします。予約申込みのない場合には入手できないことがありますので、ご注意ください。なお、予約申込み方法は下記のとおりです。

個人会員 名簿確認用紙に同封の郵便振替用紙にて名簿代金をお払込みください。
賛助会員 文書によるお申込みと同時に名簿代金をご送金ください（送金銀行口座は学会誌 7 月号 1002 ページ参照）。電話による申込みは受付けいたしません。
予 約 価 会員予約特価 4,000 円（会員定価 6,200 円、送料込）なお、海外送本は送料 1,000 円を申受けます。
申込締切 昭和 62 年 9 月 30 日（水）

本 会 協 賛 等 の 行 事 案 内

詳細は本号会議案内欄参照

昭和 62 年度 AVIRG-SMC サマーセミナー

昭和 62 年 9 月 7 日 (月) 東京・東大病院

アジア情報技術標準化フォーラム

昭和 62 年 9 月 14 日 (月) 東京・機械振興会館

第 3 回 セミナー「表面実装技術の現状と展望」

昭和 62 年 9 月 17 日 (木) 東京・学士会館

第 6 回 知識工学シンポジウム

昭和 62 年 10 月 21 日 (水)～22 日 (木) 京都・京大会館

セミナー「MAP の標準化の現状」

昭和 62 年 9 月 8 日 (火)～9 日 (水) 大阪科学技術センター

昭和 62 年 9 月 16 日 (水)～17 日 (木) 東京・ダイヤモンド社ホール

昭和 62 年電気・情報関連学会連合大会について

標記大会は、昨年と同様にシンポジウム講演、パネル討論を下記により開催いたします。多数の会員が参加され、活発な質疑討論の展開により会員各位の得るところの多い大会となるよう期待いたします。

期 日 昭和 62 年 9 月 10 日 (木)～12 日 (土) の 3 日間

会 場 工学院大学 (東京都新宿区西新宿 1-24-2)

大会参加費 会員 1,000 円, 学生 (大学院修士課程まで) 500 円, 会員外 1,700 円

懇 親 会 11 日 (金) 午後 6 時より 会場: ホテルサンルート東京 (新宿駅南口

Tel. 03 (375) 3211) 会費: 一般 4,000 円 学生 2,000 円

予約申込締切 昭和 62 年 8 月 7 日 (月) 厳守 (電話予約は不可。また、この期日以後に注文書の到着したものは予約扱いとなりません)。

申 込 先 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8, 機械振興会館内 電子情報通信学会連合大会論文集予約係 Tel. 03 (433) 6691 (代), FAX 03 (433) 6659

支 部 だ よ り

九 州 支 部

情報処理九州シンポジウム

高度自然言語処理に関するシンポジウムを下記により開催します。多数の方々のご参加をお願いします。なお、参加申込書は次号本欄に掲載しますのでご利用ください。

日 時	昭和 62 年 11 月 19 日 (木) 9:50~17:00		
会 場	公立学校共済組合「福岡リーセントホテル」(福岡市東区箱崎 2-52-1 東区役所横)		
参 加 費	会員 5,000 円 (学生 1,500 円), 一般 7,000 円 (学生 2,500 円), 論文集代 (1,000 円) を含む。		
定 員	130 名		
プログラム	支部長挨拶 (9:50~10:00) 松山 公一 (九州東海大) 自然言語処理の指向するもの (10:00~10:40) 田町 常夫 (福岡工大) 言語理論の役割 (10:40~11:25) 日高 達 (九大) テキスト構造と文脈処理 (11:25~12:10) 辻井 潤一 (京大) 言語解析の問題 (13:15~14:00) 田中 穂積 (東工大) 言語理解の問題 (14:00~14:45) 石崎 俊 (電総研) 知識と情緒の表現 (14:45~15:30) 岡田 直之 (大分大) 機械辞書作成の問題点 (15:45~16:30) 鶴丸 弘昭 (長崎大) 自然言語処理の展望 (16:30~17:00) 吉田 将 (九工大)		
連 絡 先	〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学工学部中央計数施設内 情報処理学会九州支部事務局 Tel. 092 (641) 1101 (内線 5985 (仲田))		

支 部 大 会 案 内

——電気関係学会九州支部第 40 回 連合大会——

期 日	昭和 62 年 10 月 1 日 (木), 2 日 (金)
会 場	琉球大学教養部 (沖縄県中頭郡西原町字千原 1 番地)
懇 親 会	1 日 (木) 18:30~20:30 (特別講演会場よりバス運行) 沖縄都ホテル 綾羽の間, 会費 4,000 円, 参加希望者は 9 月 30 日 (水) までに代金を添えて申込むこと。
論文集申込	論文集: 1 部 3,000 円, 予約を原則とします。8 月 22 日までに必ず代金を添えて申込むこと (郵送希望者は 1 部につき送料 350 円を添える。発送は大会終了後)。

見学・航空・宿泊 申込締切 8 月 25 日 (火), 前号巻末の案内を参照ください。

論文集および懇親会申込先

〒812 福岡市東区箱崎 6-10-1
九州大学工学部電気工学教室内 電気関係学会九州支部連合会
Tel. 092 (641) 1101 (内線 5300) (振替口座番号 福岡 8-33001)

中部支部 講演会

期 日 昭和 62 年 9 月 12 日 (土) 14:00~17:00
会 場 名古屋大学大型計算機センター演習室 (4 階) (名古屋市千種区不老町)
演 題 自然言語理解の課題と展望 石崎 俊 (電総研)
知的ガイダンスシステム——自然な日本語によるワークステーションの
操作法問合せシステム 片山 恭紀 (日 立)
参 加 費 無 料 (参加資格は問いません)
問 合 せ 先 名古屋大学工学部電気工学第二学科 大西 昇
Tel. 052 (781) 5111 (内線 3309)

講演会

期 日 昭和 62 年 10 月 14 日 (水) 15:00~17:00
会 場 豊橋技術科学大学 A 棟 1 階 105 号室 (豊橋市天伯町雲雀が丘 1-1)
演 題 製鉄プロセスにおける計測と情報処理 中野 盛 (新日鐵)
参 加 費 無 料 (参加資格は問いません)
問 合 せ 先 豊橋技術科学大学情報工学系 阿部健一
Tel. 0532 (47) 0111 (内線 521)

北海道支部大会案内

——昭和 62 年度電気関係学会北海道支部連合大会——

期 日 昭和 62 年 10 月 2 日 (金), 3 日 (土)
会 場 北見工業大学 (北見市公園町 165)
懇 親 会 10 月 2 日 (金) 18:00~ 北見ロイヤルホテル
会費 3,500 円 (学生 2,000 円), 当日受付
事 務 局 〒060 札幌市北区北 13 条西 8 丁目 北海道大学工学部電気工学科事務室内
電気関係学会北海道支部連合大会実行委員会
Tel. 011 (716) 2111 (内線 6514)

昭和 63 年度研究会等の新設提案について

昭和 63 年度に研究会・調査委員会の新設を希望する会員は、9 月 25 日 (金) までに所定の書式により、研究会 (調査委員会) 新設提案書を調査研究運営委員長に提出してください。書式その他詳細は学会事務局研究会係までお問合せください。

第5回国際データベースマシンワークショップ

IWDMA'87

5TH INTERNATIONAL WORKSHOP ON DATABASE MACHINES



October 5-8, 1987

Mampei Hotel, Karuizawa, Japan

Sponsored by: Information Processing Society of Japan (IPSJ)
Institute for New Generation Computer Technology (ICOT)
Supported by: Japan Electronic Industry Development Association (JEIDA)
In cooperation with: Association for Computing Machinery (ACM)

General chairman: Hidehiko Tanaka (Univ. of Tokyo)

Program chairman: Masaru Kitsuregawa (Univ. of Tokyo)

Database Machines are now becoming a key commercial product to answer the current large demand for high performance database system.

In IWDMA 87, about 40 presentations are scheduled. The workshop covers new developments in both theoretical and practical aspects of database and knowledgebase machines. Several new database machine architectures and commercial machines will be presented. For Knowledgebase Machine, current research status of major projects such as ECRC, MCC, and ICOT is discussed.

Karuizawa, the conference site, is one of the most famous resorts in Japan, only 150Km away from Tokyo.

Major Presentation Topics

Database Machines

New Database Machine Architecture
Vector processor/Hypercube architecture/Associative memory machine
Filter Processors
Sorting Processors
Main Memory, Database System
Transaction System
Hardware for Concurrency Control
VLSI oriented Algorithms

Knowledgebase Machines

Deductive Database Systems
Semantic Network Machines
Production System Machines
Prolog Machines
Unification Processors
Prolog Database
Knowledge Processing Model
Performance Evaluation of KBM

Accommodation (Mampei Hotel)

Twin-bedded Room (Tax, Service charge included)

Twin Use	¥8,500
Single Use	¥12,400

* For further information on advanced program, registration and accommodation, please contact;

Prof. M. Kitsuregawa
I.W.D.M. Secretariat c/o Inter Group Corp.
8-5-32, Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107, Japan
Phone: (03)479-8391 Fax: (03)479-2475 Telex: 02425181 IGC J

I.W.D.M.'87 参加申込書

氏 名: _____ Prof. Dr. Mr. Ms.

(姓) (名)

所 属: _____

住 所: _____

電話番号: _____

登 録 料

*該当欄にチェック

	会 員	非会員	学 生
9月10日以前	☐ ¥50,000	☐ ¥55,000	☐ ¥20,000
9月11日以降	☐ ¥60,000	☐ ¥65,000	

会員番号

☐ IPSJ ☐ ACM

・申込と同時に登録料を下記にお振り込み下さい。

振 込 先: 三菱銀行 赤坂支店
名 義 人: IWDMA'87
口座番号: 普通0446191

振込日 / 振込銀行 _____

申込書返送先: 〒107 東京都港区赤坂 8-5-32 赤坂山勝ビル

朝日インターネットグループ 内

IWDMA'87 事務局

・申込書は1枚1人として下さい。(コピー可)
・依頼人は、申込者と同一名義で願います。

COMPSAC 87 国際会議の参加について

第11回 Computer Software and Applications Conference を来る10月5日から高輪プリンスホテルで開きます。プログラムの概要等は前号本欄を参照ください。多数の方がたのご参加をお願いいたします。

開催日時 1987年10月5日(月)～10月9日(金)

開催場所 高輪プリンスホテル(東京・品川)

参加費 予約申込み(昭和62年9月4日以前)の参加費は以下のとおりです。

	会 員	非会員	学 生
Conference のみ	55,000 円	70,000 円	28,000 円
Conference+1 Tutorial	76,000 円	91,000 円	38,000 円
Conference+2 Tutorials	92,000 円	107,000 円	46,000 円
1 Tutorial のみ	30,000 円	40,000 円	15,000 円
2 Tutorials のみ	48,000 円	58,000 円	24,000 円

(特別賛助会社の方は、会員あつかいとなります。なお9月5日以降の申込みは割増しになります。)

問合せ先 参加申込用紙は COMPSAC 87 アドバンス・プログラムに含まれています。プログラムをご希望の方は、70円切手同封のうえ下記へお申込みください。

〒113 東京都文京区本郷 2-40-14 山崎ビル4階 (財)日本学会事務センター
COMPSAC 87 国際会議事務局 Tel. 03 (817) 5831

昭和 年 月 日

研究会発表申込書

太線枠内のみご記入下さい.

研究会名	研究会											
発表希望の 研究会開催日	昭和 年 月 日 ()											
タイトル												
発表者名 (連名者を含む)												
概要 (50字以内)												
原稿用紙送付先住所	〒			Tel. — (内線)								
氏名												

昭和 年 月 日受付

研究会名	資料 No.	開催日	幹事送付済み	その他
		昭和 年 月 日		